

一般会計決算審査特別委員会

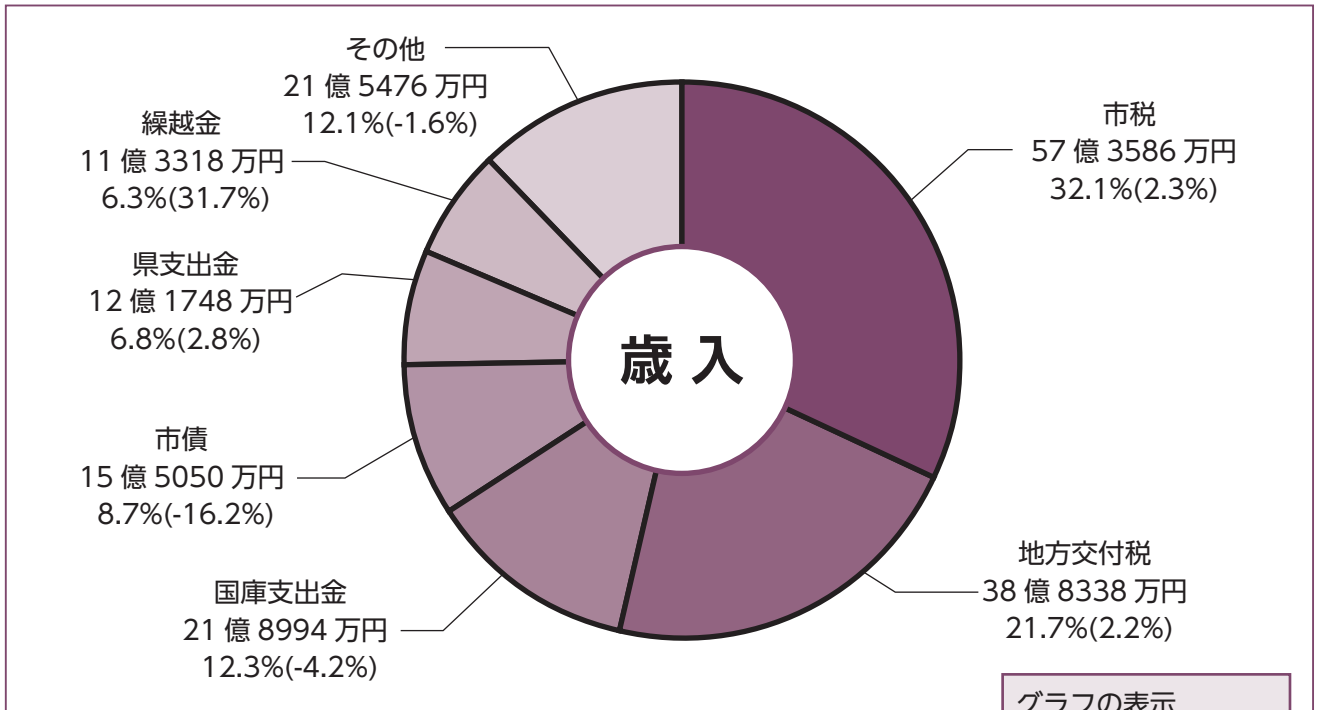
一般会計決算審査特別委員会は7名の委員で構成。

(9月20日、24日、25日開催)

○委員会付託案件の審査

・平成30年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

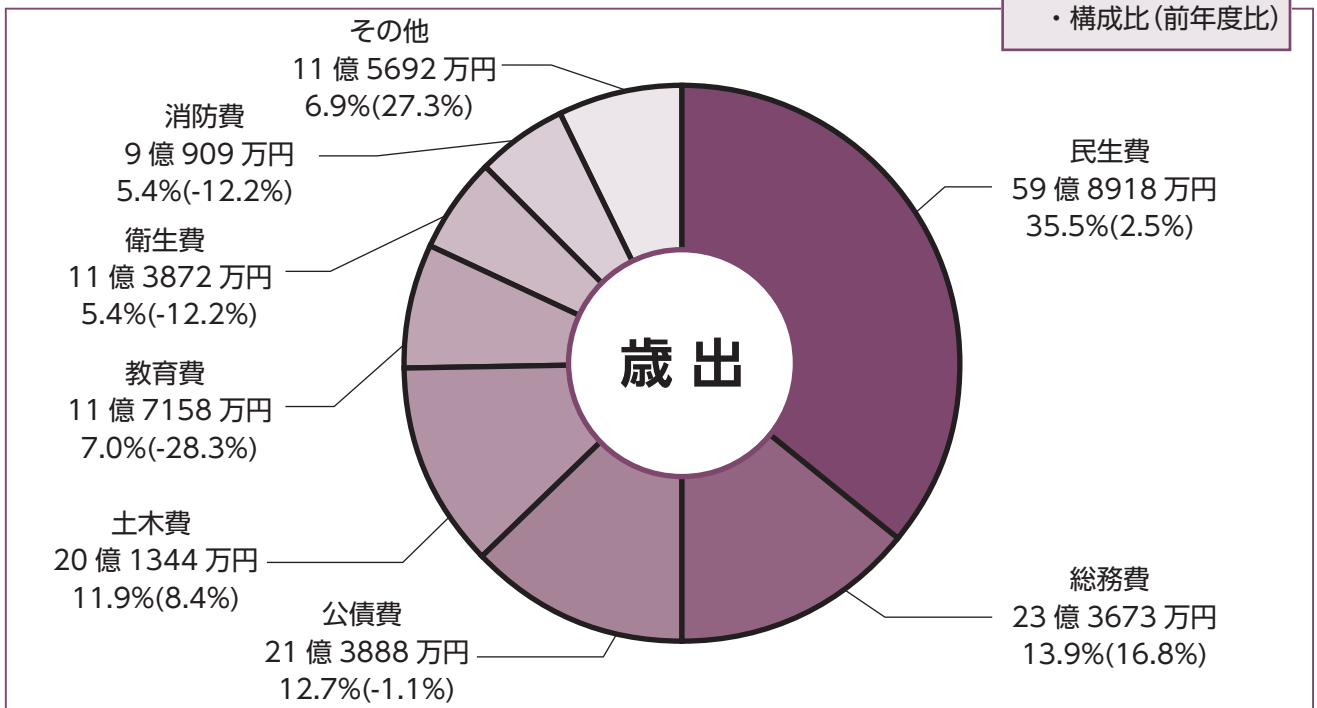
【歳入総額】 178億6510万611円



グラフの表示

- ・区分
- ・決算額
- ・構成比(前年度比)

【歳出総額】 168億5454万9633円



○審査内容（主な質疑を抜粋）

Q 有害鳥獣対策事業の鳥獣駆除謝礼114万円は、どのようなものか

A 有害鳥獣捕獲事業委託とは別に、狩猟期間中のイノシシの捕獲に対して1頭あたり1万2000円を謝礼としており、95頭分となります。



▲固定檻で捕獲されたイノシシ



▲資機材搬送車（消防本部）

Q 消防車両整備事業2101万6224円の支出の内容は

A 消防力強化のため、整備計画に基づき消防車両の更新を行う事業で、主な支出は資機材搬送車1208万7362円になります。

Q ジオパーク推進事業において、ジオパーク基礎講座やジオツアーはどの程度行ったのか

A ジオパークに関する講座の開催につきましては17回開催し、そのうち3回が基礎講座、14回がジオツアーという内容で開催しました。



▲6市議会議員連盟によるジオツアーの様子（崎浜のカキ化石床）



▲いばらきゆめ国体グラウンドゴルフプレ大会の様子（あじさい館）

Q 市民ふれあいスポーツ推進事業の支出予算額744万7000円に対して364万3000円の支出決算内容は

A 生涯スポーツ推進のため気軽にスポーツに取り組めるようなきっかけづくりとしてスポーツ教室や講習会を開催し、中でも2019年に本市で開催されました国体デモンストレーションスポーツ、ペタンクとグラウンドゴルフについては本番をイメージしたプレ大会を実施しました。

Q 不法投棄対策事業24万3432円の支出の内容は

A 不法投棄監視用ドローンの購入費となり、山間で見えないようなところに残土が入れられてしまった場合の確認などに活用しております。



▲不法投棄を警告する看板（五反田地内）

特別会計・水道事業会計決算審査特別委員会

特別会計・水道事業会計の決算審査特別委員会は7名の委員で構成。(9月21日開催)

○委員会付託案件の審査

- ・平成30年度かすみがうら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度かすみがうら市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度かすみがうら市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度かすみがうら市水道事業会計決算の認定について

特別会計決算総額 **【歳入】 104億982万7538円**
 【歳出】 103億907万9904円

特別会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	47億882万円 (-11.7%)	46億8924万円 (-11.9%)
後期高齢者医療特別会計	7億9014万円 (6.3%)	7億8743万円 (6.9%)
下水道事業特別会計	10億1865万円 (-10.4%)	10億1865万円 (-8.9%)
農業集落排水事業特別会計	4億3457万円 (-1.7%)	4億3457万円 (0.9%)
介護保険特別会計	34億5762万円 (3.3%)	33億7916万円 (7.9%)

水道事業会計決算の内訳

	歳入	歳出
水道事業会計収益的収支	9億7354万円 (-0.8%)	9億2449万円 (-1.5%)
水道事業会計資本的収支	3億419万円 (9.8%)	5億6461万円 (5.2%)

※資本的収支額で不足する金額については、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○審査内容（主な質疑を抜粋）

Q 排水設備接続支援補助金の概要と平成30年度の実績は

A 浄化槽及びくみ取りから下水道へ接続される方を対象に、4万円の補助が受けられ、さらに65歳以上または18歳未満の方がいる世帯で課税所得334万円以下の世帯は上限31万円の補助を受けることができます。実績としましては27件664万4918円を支出しております。



▲下水道加入啓発活動の様子
(西成井地内)



▲上稲吉地区農業集落排水処理施設

Q 農業集落排水処理場の修繕料が5440万円となっているが、修繕費の推移と今後の見込みは

A 現在の農業集落排水事業は供用開始後、千代田東部処理場を除く6処理場において20年を経過しており、老朽化が進み修繕費が経常的におおむね5000万円かかっている状況です。今後、再編計画を作成し、計画的な事業運営に努めてまいります。

Q 水道の漏水対策については、どのような取り組みを行ったのか

A 道路や家庭内の量水器の付近から水漏れを発見する漏水調査を平成22年度から行っており、平成30年度までに127カ所発見、年額2519万円の水漏れを防ぐ成果がありました。



▲かすみがうら市水道事務所



Q 国民健康保険の加入者が年々減少しているようだが、財源はどのように推移しているのか

A 加入者は減り、税収は横ばい、給付費は年々増えており、平成30年度は国保会計実質2億5000万円の赤字という状況であり、今後保険給付費の増加が予想され厳しい財政運営が続くものと想定されます。

Q 地域介護予防活動支援事業で運営補助金を交付している介護予防関係団体はどのような活動をしているのか

A シルバーリハビリ体操指導士の会で、おおむね60歳以上の市内の方が講師になり、各地域でシルバーリハビリ体操を広めていただいております。



▲健康祭りでのシルバーリハビリ体操の様子（あじさい館）